



鴻巣市立下忍小学校

令和2年度8月19日発行

学校だより

◎ 教育目標（目指す児童像）

「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「元気で頑張る子」

鴻巣市鎌塚10番地

TEL 548-2300

2学期スタート～「ウィズ・コロナ時代」をよりよく生きる～

校長 宮野和幸

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、今年の夏休みは例年と比べて大幅に縮小されました。「18日間」という通常よりも短い今年の夏休みは、きっとそれぞれのご家庭でも、例年とは違う形での休みとなったことでしょう。

世界的規模で大きな社会問題となっている今回の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の今後の方向性については、未だ何とも先行き不透明といったところです。このような中、本市では、本日より2学期のスタートを切ることになりましたが、今後も新型コロナウイルスの感染予防・防止の観点における適切な学校生活の構築に努めてまいりますので、引き続きのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

～ 感染対策 無視し逆ギレ ～

30代女性。新型コロナウイルスの感染対策で、人と人との距離を確保する「ソーシャル・ディスタンス」をめぐる相談です。あるファストフード店で、私の隣席は使用禁止なのに年配の女性客が座りました。注意すると「私はもう年配だからいつ死んだっていいのよ」と逆ギレ。店側から注意するよう頼みましたが、注意されてもその客は聞き入れません。非常識な人間のために席を移動したくなかったのもそのまま食べ続けましたが、その客は私に対する嫌みを、近くに座っていた知人らしき人にずっと言っていました。店側は一度注意しただけ様子を見に来ることもなく、その対応に納得できず本部に電話したところ、店長から謝罪されて終わりました。あの客のように他者への配慮もない人間がいるから、感染者がいなくならないのだと思います。

考えすぎでしょうか。（兵庫・T子）

私にも経験があります。先日、カフェで着席不可の貼り紙がある隣席に人が座り、先に来ていた横の客と話し始めたため、そっと席を移動しました。店員さんに注意してもらったこともできましたが、それをしなかったのは、たんに波風を立てたくなかったからです。誰もがピリピリしている今、これ以上嫌な思いをしたくないという気持ちの方が大きかったのです。接客のリスクを抱えながら働いている店員さんを巻き込みたくなかったという思いもあります。正解はないのです。物事に白黒つけたい傾向のある人には居心地の悪い状況でしょう。でもリスクに対する考え方が人それぞれである以上、すべて一律に線を引いて他人を従わせるのは困難です。二度と同じ思いをしたくないなら、混雑が予想される時間帯を避けるのが次善の策でしょう。ウイルスは体にも大量に存在します。すべてが悪者ではありません。ワクチンを開発するために必要な血液やデータを提供してくれているのは、感染から回復した人たちです。寛容さを忘れず、ウイルスとの共生を模索する時だと思いますがいかがですか。

＜読売新聞のコラム「人生案内」～2020.07.17 最相 葉月（ライター）より～＞

上記の新聞記事のコラムを読み、皆さんはどう考えますか。それぞれ賛否両論だと思いますが、いずれにせよ、大切な事はこれからの「ウィズ・コロナ時代」を、どう生きるかということです。新たな生活様式の確立を目指し、共に考えていきましょう。

ザリガニ釣り 2年生 生活科

7月2日（木）に、2年生がザリガニ釣りを行いました。当日は、梅雨の合間の晴れた日で久しぶりの校外での活動に子どもたちもとてもうれしそうな表情をしていました。スルメイカをえさにした簡単な釣り竿で、たくさんのザリガニを釣ることができました。また、捕まえてきたザリガニは、生活科の学習でしっかりと観察してまとめ、充実した体験活動を行うことができました。



終業式 7月31日(金)

今年は、4・5月の臨時休校もあり、例年よりも少し遅い7月31日（金）に終業式を行いました。コロナ感染予防対策として放送による終業式となりましたが、子どもたちは、クラスでしっかりとした態度で話を聞いていました。また、そのあとに行われた夏休みの過ごし方についての話は、大型テレビに映し出されたスライドショーを見ながら、生活面や安全面について、自分自身で気を付けなければいけないことを感じ取れていたようです。いつもとは違う学校生活を送った1学期でしたが、きちんと決められたルールを守り、大きな事故もなく安全に過ごせたことは、とても素晴らしかったです。

2学期以降もコロナ感染予防対策をとりながらの学校生活となりますが、引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



夏季教職員研修 8月3日(月) 4日(火)

夏季休業期間中の8月3日（月）と4日（火）に、教職員研修を行いました。人権教育や道徳教育、情報教育や特別支援教育等を行い、研鑽と修養に努めています。中でも情報教育では、コロナ感染第2波に備えて、教職員全員が授業等を動画配信できるよう研修を行いました。それぞれのクラス、学年で工夫しながら取り組み、いざという時のための準備を進めています。

